

## 令和 2 年産水稲の収穫量（徳島県）

### 【調査結果の概要】

#### 1 作付面積

令和 2 年産水稲の作付面積(子実用)は 1 万 1,000ha で、前年産に比べ 300ha (3%) 減少しました。

また、主食用作付面積は 1 万 700ha で、前年産に比べ 300ha (3%) 減少しました。

#### 2 徳島県及び作柄表示地帯別作柄概況

徳島県の 10 a 当たり収量は 476kg となり、前年産に比べ 12kg 増加しました。また、農家等が使用しているふるい目幅ベース（徳島県 1.80mm）の作況指数は 100（平年並み）となりました。

作柄表示地帯別では、10 a 当たり収量は北部が 490kg（前年産に比べ 22kg 増加）、南部が 443kg（同 13kg 減少）となり、作況指数は北部が 102（やや良）、南部が 96（やや不良）となりました。

#### 3 収穫量

収穫量（子実用）は 5 万 2,400 t で、前年産並みとなりました。

また、主食用作付面積に 10 a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は 5 万 900 t となり、前年産に比べ 100 t (0.2%) 減少しました。

#### 4 作期別の作柄概況

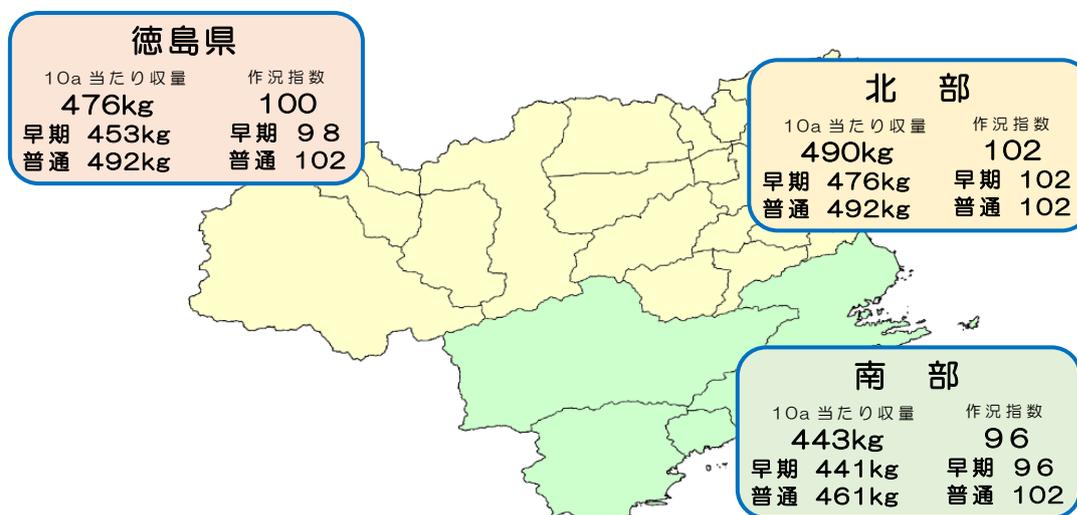
##### (1) 早期栽培

穂数は、田植後の 4 月の低温等により初期生育が抑制されたため「やや少ない」となりました。1 穂当たりもみ数は、幼穂形成期である 6 月が日照不足であったものの、高温で推移したため「平年並み」となりました。この結果、全もみ数（穂数 × 1 穂当たりもみ数）は「やや少ない」となりました。

登熟は、全もみ数が少ないことに対する補償作用に加え、8 月以降天候に恵まれたことから「やや良」となりました。

この結果、早期栽培の 10 a 当たり収量は 453 kg となり、前年産に比べ 3 kg 減少しました。また、作況指数は 98（やや不良）となりました。

図 1 作柄表示地帯別及び作期別 10 a 当たり収量及び作況指数



(2) 普通栽培

穂数は、7月が低温・日照不足で経過したものの、8月が高温・多照で経過したことから「平年並み」となりました。1穂当たりもみ数は、8月が高温・多照で経過したことから「やや多い」となりました。この結果、全もみ数は「やや多い」となりました。

登熟は、全もみ数がやや多いことによる相反作用に加え、8月以降の高温による登熟抑制、台風第9号及び第10号による倒伏のほか、カメムシによる食害、トビイロウンカの被害発生等が見られ、「やや不良」となりました。

この結果、普通栽培の10a当たり収量は492kgとなり、前年産に比べ22kg増加しました。また、作況指数は102（やや良）となりました。

表1 令和2年産水稻の作付面積及び収穫量

県・作柄 表示地帯	作付面積（子実用）			10a当たり 収量 ②	（参考）農家等が使用している ふるい目幅で選別			収穫量（子実用）			参考	
	実数 ①	前年産との比較			10a当たり 収量 ③	10a当たり 収量 ④	作況指数 ⑤=③/④	実数 ⑥=①×②	前年産との比較		主食用 作付面積 ⑦	収穫量 （主食用） ⑧=⑦×②
		対差	対比						対差	対比		
	ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
徳島	11,000	△ 300	97	476	464	462	100	52,400	0	100	10,700	50,900
早期栽培	4,260	△ 80	98	453	443	453	98	19,300	△ 500	97	...	...
普通栽培	6,710	△ 230	97	492	478	467	102	33,000	400	101	...	...
北部	7,880	△ 200	98	490	476	466	102	38,600	800	102	...	...
南部	3,080	△ 120	96	443	434	451	96	13,600	△1,000	93	...	...

表2 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況

単位：%

県・作期	区分	計	ふるい目幅別重量分布状況					
			1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
徳島	重量割合	100.0	0.9	1.7	2.4	2.4	13.8	78.8
	平均値	100.0	0.9	1.5	2.2	2.6	13.9	78.9
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.2	0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1
早期	重量割合	100.0	0.8	1.4	1.8	2.0	11.1	82.9
	平均値	100.0	0.7	1.3	1.9	2.3	13.2	80.6
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 2.1	2.3
普通	重量割合	100.0	1.0	1.8	2.7	2.7	15.4	76.4
	平均値	100.0	0.9	1.6	2.4	2.8	14.5	77.8
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.2	0.3	△ 0.1	0.9	△ 1.4

表3 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）

県・作期	区分	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
		徳島	10a当たり収量(kg)	476	472	464	452
	収穫量(子実用)(t)	52,400	51,900	51,000	49,800	48,500	41,300
早期	10a当たり収量(kg)	453	449	443	435	426	376
	収穫量(子実用)(t)	19,300	19,100	18,900	18,500	18,100	16,000
普通	10a当たり収量(kg)	492	487	478	465	452	376
	収穫量(子実用)(t)	33,000	32,700	32,100	31,200	30,300	25,200

表4 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（徳島県）

区分	計	単位：%							
		100kg未満	100～200	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700kg以上
筆数割合	100.0	—	2.0	3.3	12.0	38.0	34.0	10.7	—
前年値	100.0	—	1.3	2.7	13.3	42.7	36.0	3.3	0.7
対前年差(ポイント)	0.0	—	0.7	0.6	△1.3	△4.7	△2.0	7.4	△0.7

図2 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（徳島県）

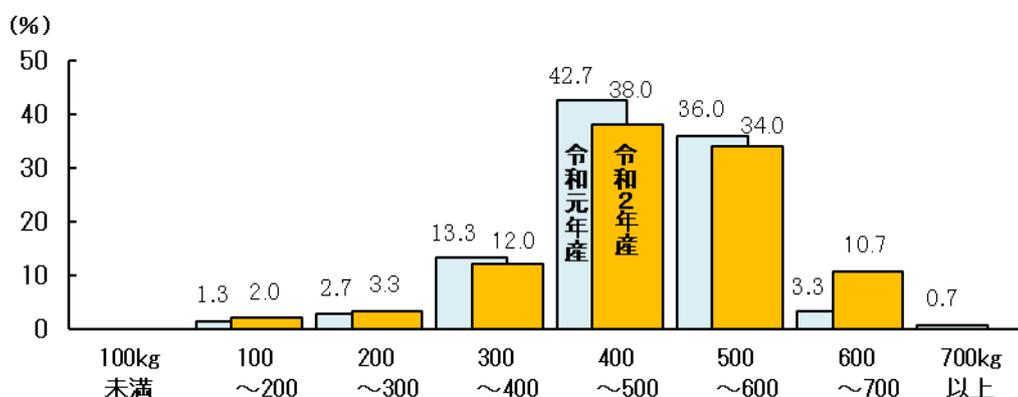


表5 水稻における農家等が使用したふるい目幅の分布（徳島県）  
【令和2年産水稻作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

区分	計	単位：%					
		1.70mm以上 1.75mm未満	1.75～1.80	1.80～1.85	1.85～1.90	1.90～2.00	2.00mm以上
農家数割合	100.0	0.6	14.2	76.2	9.0	—	—

注：農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稻作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものです。

表6 令和2年産水稻の被害面積及び被害量（徳島県）

被害種類	被害面積	被害量	被害率	
			実数	対前年差
	ha	t	%	ポイント
日照不足	11,000	1,080	2.1	△2.6
高温障害	8,290	407	0.8	0.8
いもち病	3,720	312	0.6	△0.2
ウンカ	553	91	0.2	0.2
カメムシ	3,090	177	0.3	0.1

◎累年統計表

区分	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収穫量 (子実用)	作況指数	参考	
					主食用 作付面積	収穫量 (主食用)
	ha	kg	t		ha	t
徳島県 平成25年産	13,400	487	65,300	103	13,100	63,800
26	13,200	452	59,700	95	12,800	57,900
27	11,900	457	54,400	97	11,700	53,500
28	11,700	490	57,300	104	11,500	56,400
29	11,500	480	55,200	101	11,300	54,200
30	11,400	470	53,600	99	11,200	52,600
令和元年産	11,300	464	52,400	98	11,000	51,000
<b>2</b>	<b>11,000</b>	<b>476</b>	<b>52,400</b>	<b>100</b>	<b>10,700</b>	<b>50,900</b>
早期栽培 平成25年産	5,290	468	24,800	101	…	…
26	5,200	448	23,300	97	…	…
27	4,580	450	20,600	97	…	…
28	4,470	480	21,500	104	…	…
29	4,450	481	21,400	104	…	…
30	4,400	466	20,500	101	…	…
令和元年産	4,340	456	19,800	98	…	…
<b>2</b>	<b>4,260</b>	<b>453</b>	<b>19,300</b>	<b>98</b>	…	…
普通栽培 平成25年産	8,130	499	40,600	104	…	…
26	8,020	454	36,400	95	…	…
27	7,340	461	33,800	96	…	…
28	7,180	497	35,700	104	…	…
29	7,080	479	33,900	100	…	…
30	7,000	474	33,200	99	…	…
令和元年産	6,940	470	32,600	98	…	…
<b>2</b>	<b>6,710</b>	<b>492</b>	<b>33,000</b>	<b>102</b>	…	…
北部 平成25年産	9,450	497	47,000	104	…	…
26	9,340	455	42,500	95	…	…
27	8,560	460	39,400	96	…	…
28	8,430	495	41,700	104	…	…
29	8,350	481	40,200	101	…	…
30	8,220	474	39,000	99	…	…
令和元年産	8,080	468	37,800	98	…	…
<b>2</b>	<b>7,880</b>	<b>490</b>	<b>38,600</b>	<b>102</b>	…	…
南部 平成25年産	3,970	463	18,400	100	…	…
26	3,880	444	17,200	96	…	…
27	3,360	448	15,100	97	…	…
28	3,220	478	15,400	104	…	…
29	3,190	478	15,200	104	…	…
30	3,180	463	14,700	101	…	…
令和元年産	3,200	456	14,600	99	…	…
<b>2</b>	<b>3,080</b>	<b>443</b>	<b>13,600</b>	<b>96</b>	…	…

本資料は、「令和2年産水稻の収穫量（中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

お問合せ先

中国四国農政局 徳島県拠点 統計チーム 担当：近藤、半田  
 電話：088-625-6990 FAX：088-655-4657